



花見川中学校だより

令和4年度 13号 3月14日

令和4年度 第8回卒業証書授与式

校長 横田 俊之

3月10日(金)、つつがなく卒業式を挙行いたしました。今年度の活動の集大成となる立派な式であったと自負しております。「支えてくれた全ての人への感謝の気持ちを胸に、未来に向かって旅立ちます」と卒業していった卒業生の姿が頼もしかったです。

式辞、送辞、答辞を紹介させていただきます。

<式 辞>

生命が芽生える春の気配を感じさせてくれる今日のよき日に、千葉市立花見川中学校、第八回卒業証書授与式を挙行できますこと、心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました、103名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの船出を職員一同、心から祝福いたします。

私は皆さんの活動を2年生の時から2年間見てきました。最初は当時の3年生の素晴らしい活動が目に入ってきましたが、3か月が経ち、半年、そして1年が経過するころには皆さんは大きく成長していました。文字通り「学校の中心」として、いろいろな活動を行う姿は頼もしく思えました。6月19日から2泊3日で行った2年ぶりの県外での修学旅行。2日目の穂高方面での班別活動は、その時期としては珍しく30度を越える真夏日でした。しかし皆さんは終始笑顔で長野の大自然の中で活動をしていました。その他、体育祭や総合体育大会、合唱祭など一つ一つの活動が鮮明に蘇ります。しかし、この3年間は楽しいことばかりではありませんでした。むしろ試練の連続でした。

皆さんが入学した令和2年。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、政府は3月から全国の学校に休校を要請しました。そして入学式が6月9日に行われるという前代未聞の事態となりました。せっかく入学したのにしばらくの間は部活動も行われず、体育祭は中止となりました。合唱祭や校外学習も規模を縮小して行いました。そんな状況が続き、皆さんが3年生になっても「マスク生活」は続いています。行事は規模を縮小して行う。感染症予防のため3密の禁止。手洗い、消毒、換気。音楽の授業は歌を歌えず。一度しかない中学校生活です。思い切り行事に取り組みたかったことでしょう。恐らく、家族や友達には「悔しい」「行事をやりたかった」などのことを何度も言ったと思います。また、やり場のない気持ちを抑えることが大変だったと思います。

しかし、私が皆さんは全体の前では決して悔しい思いを全く見せませんでした。それどころか縮小された活動や行事に対して全力で、気持ちを込めて、さらには楽しんで取り組んでいました。そんな皆さんを見て1・2年生は本当に元気をもらいました。

皆さんを見て、「できることを」「気持ちを込めて」「全力で精一杯取り組む」ことの大切さを改めて認識しました。

皆さんは今日で中学校を卒業します。これから、より大人に近づいた生活になります。今まで以上に辛いことや大変なこと、嫌なことがあるでしょう。しかし、中学校3年間で見せてくれた「できることを」「気持ちを込めて」「全力で精一杯取り組む」ことを心がければ道は必ず拓けます。ぜひ、その姿勢を今後も続けてください。

結びにあたりまして、保護者の皆様に申し上げます。お子様のご卒業、誠にありがとうございます。コロナ禍で満足のいかない学校生活になってしまったこと、校長としても大変心苦しく思います。しかし、今申し上げた通り、子どもたちは「できること」を「全力で精一杯」取り組みました。また、保護者の皆様も本校の教育活動に対しまして、常にご理解とご協力を賜り深く感謝いたします。これからも変わらず、花見川中学校の発展を見守っていただけますよう重ねてお願い申しあげ、式辞といたします。

<送 辞>

先輩、時がたつのは早いですね。先輩とのお別れが、とうとう来てしまいました。休校から始まった、先輩たちの中学校生活。コロナ禍の三年間、多くの普通が奪われていきました。あきらめ、我慢し続けていく状況を、私たちは先輩がいたから乗り越えられました。やっと行事は少しずつ行われるようになり、それがどんなに幸せなことか。身に染みえています。そんな先輩への感謝を、教室にいる在校生全員の分も、届けたいと思います。



卒業証書授与



五月の体育祭。広くなったグラウンド。でもまだ、すべての種目がいつもどおりにはできなかった。けれど、応援合戦、先輩と一つになった。先輩の統率力、応援の迫力、団結力、すごく、すごくかっこよかったです。そして、先輩と踊れた、花見中ソーラン。先輩の背中を見て、踊れた。先輩の踊りから体育祭への思いが、伝わってきました。今でも、先輩の踊る姿が目には焼き付いています。私はその後姿を、きっと忘れることはないと思います。

初めて学年合唱ができた合唱祭。先輩の合唱だけ、何か違った。歌声に魅了されました。広いホールいっぱい響き渡る歌声は、私たちのあこがれです。その感動は今も心を占めています。マスクをしていても素晴らしかったけれど、願いが叶うなら、マスクをとった歌声を、歌う表情を見たかった。

部活動の目標を叶えようと、毎日必死に活動していた。夢に向かって、努力し続けていた。一緒に活動できたこと、誇りに思っています。先輩の頑張る姿があったから、私たちは成長できました。最後の総体、感染症の影響で出場できなかった先輩がいました。その悔しさはその先輩にしか分からない。先輩は「頑張れ」と、皆を送り出していました。感染症の日々は、今しかない多くの一瞬を、奪っていきました。それでもどんなときも先輩は笑顔で続けた。私たちを不安にさせなかった。強くて、かっこよくて、大好きな先輩。憧れの先輩。いつまでも先輩の背中を、追いかけていたかった。先輩と一緒に笑っていたかった。でも、先輩は卒業する。

規制ばかりの日々だったけれど、たくさんのことを学びました。先輩がいなくなったあとも、私たちは成長します。先輩がくれたものはここにあるから。

困っているときは助けてくれる、どんなときも優しく先輩。行事に一生懸命な先輩。ちょっとおちゃめな先輩。明るく笑わせてくれる先輩。どんなことも真剣に取り組む先輩。悔し涙をぬぐう先輩。最高の笑顔で励ましてくれる先輩。

これまで一緒に過ごしてきた先輩は、いろいろな姿を、見せてくれました。その一つ一つの姿が、私たちのあこがれであり、目標です。

先輩の卒業のときを、私たち在校生全員、この会場で、同じ空間で、見送りたいかった。でも、かないませんでした。その思いを心に込めて練習した歌を、録音しました。届けます。

送別の歌「旅立ちの日に」

いよいよお別れのときが、きました。

最高学年として学校を引っ張っていく姿、本当にかっこよかったです。先輩が目標に向かって進んでいく姿を、私たちはずっと応援しています。そして、私たちは「先輩」という目標に向かって、歩み続けます。

世界一、目指していきます。私たちの「解答用紙」を見守ってください。ありがとうございました。

<答 辞>

- 【 】卒業の 春のまんなかで 思い出すのは
やさしかった あのひと しんぱいかけた 先生
夢をさがした 教室
くるしかった むねのいたみも すぎてしまえば
みんな みんな いとおしい



クラスメイトと初めて顔を合わせたのは、分散登校でした。

4月入学式の予定日の前日、学校には行けないとわかっていても、泣きながら入学式の準備をした友達があります。

私たちの入学式は6月でした。名前も顔も知らないクラスメイト、マスクやアクリル板で覆われ、歌も歌えないまま、私たちの学校生活は始まりました。

- 【 】その年は何もかもがあきらめと我慢でした。体育祭や総体など、多くのものが中止になり、先輩たちは最後を飾ることができませんでした。私たちは、あきらめ、我慢し続ける先輩たちの背中を、どうすることもできずに見つめていました。
- 【 】中学校生活はたったの3年間で、先輩と行事に取り組む中で、学んでいく。成長していく。その大切な一年がなくなった。それでも私たちの日々は進んでいく。できることはやる。方法を考える。マスクで半分顔が隠れていても、友達の輪は広がる。試合はなくなっても、部活はできる。自然教室は、日帰りの房総。全力で楽しんだ。
- 【 】感染症の日々は終わらないまま、3年生。広くなった千葉市一のグラウンドで五色の旗が舞う。最後の体育祭。規制もあったけれど、全員が同じ方向を向いて全力で戦った。家族にも披露できた。自分たちの情熱を全身で伝えた。心を射貫くピストルの音。力の限り。声の限り。走る。とぶ。叫ぶ。限界を超える応援団。

負けたくない思いがつかないだバトン。3年ぶり、絶対的な思いで、全校で踊った花見中ソーラン。花見川中、ここにあり。

三年間必死に取り組んだ部活動。一年目中止になった総体。二年目無観客の総体。それでもやれたことに感謝。そして、私たち。当たり前前の方が当たり前前にできることがこんなにしあわせだったとは。3年の夏、最後の夏。暑い夏に熱い思い。本気でぶつかった。家族にその姿を見てもらえた。感染症で参加できなかった仲間もいたけれど。その思いまでも全部注ぎ込んだ。悔しさも喜びも人生で初の、感情だったかもしれない。

- 【 】 マスクをしたままの合唱祭。規制は続くけれど、心は熱く、クラスの団結力は高まっていきました。絶対にやりたい最優秀賞。最後の大行事。「レベルを上、上に」心は自然に一つになっていきます。完成させた合唱は一言で言うなら「熱い思い」。

素晴らしかった先輩がいてこそ、クラスの仲間がいてこそ、競い合う仲間がいてこそ、輝きが増してきます。よりよいものを目指し続けた私たちに与えられたのは、最高のハーモニーと感動。

校長先生、毎日、毎朝、一番の笑顔で挨拶してくださいました。励まされました。先生方、3行日記や休み時間の何気ない会話が本当に楽しかった。人として大切なことを教えていただきました。修学旅行、忘れられません。私たちの思い出のためにたくさん考えてくださったのですよね。感謝しかありません。先生の励ましに何度も助けられ、頑張る源になりました。ゴールや目標が分からなくなったとき、支えてくださった先生、見放さなかった先生、とても心強かったです。つらいことや苦しいことも一緒に乗り越え、ここにこうしてられるのは、先生方のおかげです。3年間、見守り続けてくださり、ありがとうございました。

- 【 】 在校生のみなさん 支えられたのは私たちです。「先輩！」って頼ってくれた。小さなことにも「ありがとう」と言ってくれた。その笑顔に励まされ続けて、やってきました。私たちができなかったことは、私たちの分まで全力で楽しんでほしい。必死につないできた花見川中学校の伝統を引き継いでいってください。中学校での生活は悩むことが多いと思います。そんなときこそ、友達です。家族です。先生です。一日一日を大切にしてください。必ず成長できます。

- 【 】 素顔が半分隠れていても、友達との絆は深まります。この出会いが私たちを変えていきました。たわいもないことで笑いあった。はしゃぎすぎてしかられた。些細なことでもけんかした。悩みを打ち明けた。一緒に悩んだ。支え合い、励まし合った。その当たり前前の日々が一生忘れることのできない宝物になる。ありがとう。みんなと出会って信じることの大切さを実感しました。こんな毎日がずっと続けばいいと思わせてくれました。でも、別れは来る。これからそれぞれの道に進んでいきます。大人になって、またみんなが集まって、この感染症の日々を懐かしく笑い合えるその日まで、前を見て自分の足で、自分の道を歩んでいこう。

- 【 】 今日この想いを誰よりも伝えたい、感謝しなければならぬ人。私たちの愛する家族。自分のことより私たちでした。支え続けてくれました。大事な存在なのに、欠かせない存在なのに、反抗しました。やつあたりもしました。自分が一番分かっています。きちんと「ありがとう」を伝えなければならぬことを。十五年間の想いを込めて、伝えます。お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん

- 【 ・ 】 「ありがとうございました。」

- 【 】 まだまだこれからです。心配も迷惑もたくさんかけてしまうと思います。それでもいつか恩返しできる日が来るまで、私たちは一步一步成長していきます。見守ってください。

卒業の 春のまんなかで 思い出すのは
あこがれの せんばい けんかばかりの 友達
夢をぶつけた 校庭
かなしかった なみだのあとも
すぎてしまえば みんな みんな いとoshii

卒業の歌「正解」合唱



卒業の歌「正解」合唱

- 【 】 「別れ」は必ずやってくる。しかし、幕が下りるのではありません。語り継がれていくのです。卒業は始まりのための終わりです。自分の道を歩むときです。どんなことがあっても、これまでの日々が私たちの背中を押してくれる。今まで支えてくれた全ての人への感謝の気持ちを胸に、明るい未来に向かって、私たちは旅立ちます。採点基準は「これからの私たちの生き方」「正解」は一人一人の人生の中に。

「ありがとうございました」

- 【全員】 「ありがとうございました」

<歓送会> 3月2日(木)

3月2日(木)、歓送会が開催されました。1・2年生は3年生への感謝の気持ちを全力で表現しました。1年生のハンドダンス、5組が合同予餞会で発表した劇のビデオ上映、2年生の劇「明日、君を食べるよ」、どれも心のこもった発表でした。3年生は後輩を含め多くの人に支えられてきたことに感謝し、新たな進路に向けての決意を新たにしましたことと思います。



1年生 ハンドダンス



2年生 劇「明日、君を食べるよ」



体育館の装飾

<第8回顕彰式> 3月2日(木)

歓送会の前に、令和4年度顕彰生徒の表彰が安恒会長より行われました。今年度は、3年生6名が顕彰生徒として選ばれました。

本校の顕彰会は、花見川一中から合わせて30年以上続いています。

表彰推薦基準として全員に共通していたことは、「陰日向なく地道に物事に取り組み、よく努力している生徒」。学級を超えて支持を受け、学年を支えた生徒、下級生からも目標とされるであろう生徒が表彰されました。

選ばれた人も選んだ人も、これからも花見川中の誇りと魂を胸に頑張っしてほしいと思います。



6名の顕彰生

<連絡>

千葉県警察本部から以下の内容について周知依頼がありましたので、お知らせします。

「令和5年4月1日から、全ての自転車利用者に対する乗用車ヘルメットの着用が、努力義務になります。」

自転車乗用時のヘルメットについては、非着用時の致死率が着用時と比較して約2.2倍であることから、自転車事故で最も多い頭部の損傷を防ぐ効果が期待できます。ぜひ、ヘルメットの着用についてご検討ください。

<4月行事予定>

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	土	新年度準備	16	日	
2	日		17	月	尿検査(一次)
3	月	部活動中止(～4/7朝まで)	18	火	3年全国学力学習状況調査 市教研 部活動中止
4	火		19	水	耳鼻科健診9:00(2年+抽出)
5	水		20	木	職員会議
6	木	着任式 前期始業式 入学式準備 新入生学級発表	21	金	正式時間割開始
7	金	第9回入学式(9:30) 自転車通学保護者説明会	22	土	授業参観 学年保護者会・学級懇談会
8	土		23	日	
9	日		24	月	振替休業
10	月	特別日課 給食開始 個人写真撮影	25	火	学年会 部活動中止
11	火	特別日課 新入生歓迎会	26	水	
12	水	特別日課 避難訓練 中央委員会	27	木	
13	木	特別日課 専門委員会 部活動中止	28	金	3年全国学調(英語「話すこと」) PTA総会14:30 部活動保護者説明会15:30
14	金	平常日課開始	29	土	昭和の日
15	土		30	日	

※4月の行事に関しましては、現段階での予定です。変更の可能性もあります。